



泊小学校だより
～潮風の中でたくましく～

令和2年1月8日

第19号 校長 山本 洋介

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年は、十二支が一回りしてスタートの子年（ねずみどし）となりました。中国伝来の十二支は、もともと植物の循環する様子を表しているものだそうで、その1番に「子」（ねずみ）があるように、新しい生命が種子のなかに萌（きざ）し始める時期で、新しい物事や運気のサイクルの始まる年になると考えられているということです。

本日、第3学期の始業式を迎えましたが、子どもたち一人ひとりは、新しい年の新しい目標を立てて登校してきています。（代表の子どもたちは、始業式で目標の発表をしてくれました。）新たなスタートの新しい目標の達成に向けて頑張りが、次年度につながる1年間のまとめをしっかりと行こうと思います。

< 3学期での主な取組 >

【確かな学力について】

- ・ N R T（学力検査）の実施・結果分析
- ・ 国語「書くこと」の充実を図る。
- ・ 家庭学習のさらなる習慣化と自主学習の充実を図る。

【たくましく生きる心と体について】

- ・ 日常生活での言葉遣いの見直しと「さん」付けの徹底を図る。
- ・ 家庭でテレビ・ゲーム等の上手な付き合い方を考えていきたい。
- ・ お年玉も含め、しっかりとした金銭感覚が身につけられるようにしたい。

【ふるさと学習他】

- ・ 地域の方とのつながりを大切にした学習を進める。
 - * 日本の和楽器に親しもう
 - * 昔からある遊びをしよう
 - * ホームページ、便り等の発信

※ 2学期の教育反省に基づき、上述のことを中心にしながら1年間のまとめをしっかりと行っていこうと思いますのでよろしくお願いします。

特に、【たくましく生きる心と体について】の3点については、子どもたちの生活の充実のため、より頑張っていきたいと考えています。ご家庭の方でも約束事等を決めて進めていただくなど、ご協力いただきますよう重ねてお願いします。

今年も年明けの正月三が日は「ニューイヤー駅伝」「箱根駅伝」がテレビ放映され、盛り上がりを見せていました。この「駅伝」の言葉の根源は古く、「日本書紀」にもその痕跡が見られ、律令時代においては、唐の制度にならい取り入れられた「伝馬」「駅馬」の制度がそれに当たるのだそうです。競技としての「駅伝」は1917（大正6）年に始まりましたが、その歴史は実に103年を迎えたことになります。

さて、この「駅伝」ですが、一人で走る自分自身との闘いでありながらチーム一丸となって襷をつないでいく姿が魅力の一つとして挙げられるのではないかと思います。そして、そこに私たちの心はゆり動かされるのではないのでしょうか。（一生懸命打ち込んできたからこそ、どの選手も全力で走って全力で喜んだり、悔しがったりできますし、私たちもその姿に感じ入るところがあると思います。）また、そうした姿を見ることは、日頃より一生懸命に取り組もうとしているのか、一つ一つの襷の重さを見失っていることはないかなど自分を振り返るいい機会にもなるように思います。

私たちも標記取組を学校みんなで一生懸命にやり、全力で喜んだり、悔しがったりしながら、今の学年の襷を次の学年に自信を持って渡せる3学期になるよう頑張ります。